

高速道路の暫定2車線区間における安全性向上に関する共同宣言

高速道路は、四国4県の県民の暮らしはもとより、経済・産業の発展を支える基幹的な交通インフラです。

この度、四国の暫定2車線区間で繰り返し発生した正面衝突による死亡事故は、道路利用者に大きな不安をもたらしており、四国における地方創生の妨げとなることが危惧されます。

私たちは、この現状を重く受け止め、高速道路の安全性向上を目的に、以下の取組を力強く推進していくことをここに宣言します。

1. 高速道路の4車線化の早期実現に向けた連携強化

暫定2車線区間の4車線化の早期実現に向け、国及び高速道路会社に対する要望活動について、関係機関との連携を強化してまいります。

2. 緊急的な安全対策の促進

長大橋梁やトンネル区間において、上下線を区分する区画柵の設置や視認性向上のための路面標示改良、速度抑制を促す注意喚起の拡充など、国及び高速道路会社に対して、即効性のある対策を要望してまいります。

3. 交通安全啓発活動の強化

交通事業関係団体等に対し、交通事故防止対策の徹底について緊急要請を行うとともに、運転者への出発前点検や交通ルールの遵守、速度抑制等の啓発について行政・警察・高速道路会社などと連携し、道路利用者の安全運転意識の向上を図ってまいります。

令和7年8月8日

徳島県知事	後藤田	正純
香川県知事	池田	豊人
愛媛県知事	中村	時広
高知県知事	濱田	省司